

ヤエヤマウスムラサキクチバを兵庫県市川町で採集

高橋輝男

ヤエヤマウスムラサキクチバ *Ericeia inangulata* はヤガ科 (Noctuidae) シタバガ亜科 (Catocalinae) 属のガで、その分布はインドから東南アジア一帯に分布し、日本では八重山諸島の石垣島、西表島に産するとされている南方系のガである。筆者はその南方系のヤエヤマウスムラサキクチバを兵庫県市川町で採集したので報告する。

約2年前の2016年10月20日に、同町にある播但連絡道路市川パーキングにガの写真撮影に出かけたところ、午後9時過ぎに一頭の名前の分からないガを捕獲した(図1)。クチバガの一種と思われたが、展翅してから同定しようと思い展翅したまま部屋の隅に置いておいた。最近になり、展翅したガの整理をしていたところ名前のついていないガがあることに気が付いた。

そのガを取り出して表側と裏側を撮影したものが写真2および3である。開帳は43mmであった。

これらの写真をDMJやインターネット上の写真と比較し同定作業を行ったところ、このガはヤエヤマウスムラサキクチバであるとの結論に達した。

先に述べたように本種の分布は日本では八重山諸島の石垣島、西表島となっているが、四国でも記録がある(webサイト:四国産蛾類図鑑)。図1でも分かるように全く損傷のない綺麗な個体であり、当県では遇産蛾で初記録と思われる。

○参考文献

Digital Moths of Japan, 78.9 Catocalinae, Cat.4302.
 (http://www.jpmoth.org/~dmoth/80_Noctuidae/09Catocalinae/4302_Ericeia_inangulata/Ericeia%20inangulata.htm)
 みんなで作る日本産蛾類図鑑. ヤエヤマウスムラサキクチバ (http://www.jpmoth.org/Noctuidae/Catocalinae/Ericeia_inangulata.html)
 四国産蛾類図鑑 (<http://homepage64.private.coocan.jp/z41shikokugaruizukan.html>)
 (Teruo TAKAHASHI 兵庫県神崎郡福崎町)



図1 ヤエヤマウスムラサキクチバの生態写真 著者撮影.



図2 展翅標本(背面) 著者撮影.



図3 展翅標本(腹面) 著者撮影.

ナマリキリガを兵庫県市川町で採集

坪田 瑛

ナマリキリガ *Orthosia satoi* はヤガ科 (Noctuidae) ヨトウガ亜科 (Hadeninae) のガである。このガは講談社大図鑑によると日本特産で山梨、東京、群馬、長野、新潟、岩手、秋田、青森などの都県から産地が知られており、4月に出現するがその個体数は少ないと記載されている。上記以外では石川、愛知、岐阜の各県でも確認されている。本種は出現時期が短くて出会うのに難しい春キリガのうちの一種である。そのナマリキリガを兵庫県市川町で採集したので報告する。

2018年5月2日に兵庫県市川町にある播但連絡道路市川サービスエリアを訪れガの写真撮影と採集を行っていたところ、初見のガがいることに気が付いた(図1)。写真撮影後補虫瓶に収め、自宅に持ち帰り展翅した(図2, 3)。開帳は43mmであった。著者が防虫対策を怠ったために虫食いの被害に会ってしまっているが、内・外横線は亜中脈襞上で黒色条で連結され、その周辺は後縁に至るまで黒色に染められていることが認められ、ナマリキリガであることが判明した。

ナマリキリガは一般に本州中部から東北地方にかけて分布しており、兵庫県では偶産蛾に近いものであると思われる。

○参考文献

井上寛・杉繁郎他, 1982. CAT.3437. 日本産蛾類大図鑑, 講談社.

みんなで作る日本産蛾類図鑑. ナマリキリガ (http://www.jpmoth.org/Noctuidae/Hadeninae/Orthosia_satoi.html)

(Teru TSUBOTA 兵庫県神崎郡市川町)



図1 2018年5月2日に兵庫県市川町で撮影したナマリキリガの生態写真 著者撮影.



図2 展翅標本(背面) 著者撮影.



図3 展翅標本(腹面) 著者撮影

兵庫県加古川市でアカマダラハナムグリを採集

柴田 剛

加古川水系の昆虫や植物の写真撮影を行っているが、あまりの暑さで河川敷に行く気になれず、木陰であれば少しは涼しいだろうと加古川左岸側の川の近くの公園に出かけたところ、偶然にアカマダラハナムグリ *Anthracophora (Poecilophilides) rusticola* を採集したので報告する.

本種の成虫はクヌギやコナラの樹液に集まるが、幼虫はワシタカ類や大型の水鳥の巣に依存するようで、希少であるとともに生息環境が特殊なことから、国のレッドデータブックでは「情報不足」、兵庫県版レッドデータブックでは「Aランク」になっている.

コナラの木の幹の地上から1.2 mくらいのところにサトキマダラヒカゲがとまっており、カメラを近づけても全く逃げず、わずかににじみ出ている樹液をなめていた.

サトキマダラヒカゲの下で見慣れないコガネムシが樹皮の隙間に頭を突っ込んで樹液をなめているのが見えたので、サトキマダラヒカゲを指で押しつけてつまみ出したところ本種であった.



【撮影・採集データ】

採集年月日: 2018年8月2日

採集地: 加古川市加古川町大野(日岡山公園)

(Takeshi SHIBATA 兵庫県明石市)